学校番号	1205

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)工芸基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

工芸の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深める。

2　学習の到達目標

・生活に根ざした創造活動である工芸について理解を深め、表現するために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表すことができる。
・美術工芸のよさや美しさ、意図と創造的な工夫、身近な生活の視点にたった発想や構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
・美術工芸文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生活に根ざした創造活動である工芸について理解を深める。 ・創造的な美術・工芸の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	・身近な生活の視点にたった発想や構想ができている。 ・用途と美しさとの調和を考え、工芸の表現のよさなどを生かした制作の構想を練る。	・美術・工芸の文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 ・造形分野の基礎的な学習内容に興味を持ち、自身の生活や進路に生かそうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	カトラリー	・木材でフォークとスプーンを制作する。身の回りにある日用品や動作を観察し、使い勝手を考えデザインし制作する。	a:刃物を使った木材の切り方・削り方を理解し丁寧な作業ができる。 b:使いやすさを考え、木材で作れる作品の構想を練っている。 c:身の回りの工芸を考え興味を持って制作する。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子
	陶土による立体造形	・陶土を使い、立体の基本に基づいて自由な発想で立体構成する。	a: 陶土の特性を駆使し、量感や質感を工夫しながら制作できている。 b:個性的なデザイン・造形を表現ができている。 c:粘土立体の表現に興味を持ち、意欲的に作業を行う工程を学ぶ。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子
2学期	鋳型合金	・鋳型の技法を学び金属を流して造形する。アクセサリーやペーパーウェイトなど金属の持ち味を生かした造形物を制作する。	a:鋳型の工程を理解し、技術を身につけることができる。 b:目的に合った道具の選択ができ、工夫して制作ができている。 c: 研磨など様々な工程で意欲を持って取り組んでいる。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子
	テキスタイルデザイン	・さまざまな染の技法を知り、型染やシルクスクリーン技法でバックを制作する。	a:さまざまな染の技法を理解すし、複雑な模様表現ができる。バックの構造を理解する。 b:技法にあったデザインやバック組立後の構想を練っている。 c: 自己の個性を生かした作品制作に意欲的に取り組むことができる。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子
3学期	寄木細工	・色の違いのある木材を使い寄木細工で立体造形する。身の回りの生活を意識し、使いたいものを発想し構想する。	a:工具を使いこなし、手順良く、きれいな造形表現ができている。 b:使うイメージを膨らませ、デザインを考える。 c:計画的な立体造形の制作に意欲的に取り組んでいる。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度